ゆうかん特報'86

また増えました贈り物

4月23日 サンジョルディの日

St.Jordi's Day

本とバラが愛のかけはし

何かと物入り 心は豊かに 懐は・・・？

"愛と知性"の贈り物はここで生まれた―カタルーニャの「本と花の市」。下の写真も

スペインから"上陸"

豊かさに裏づけされた遊び

【生活文化部・渡辺　豊義記者】

あきってはホワイトデー。聖バレンタインデーにチョコをもらった男性が、マシュマロやキャンデーなどのお返しをする日とか。とかく日本人は義務の好き。まご商魂にのってしまうのも、豊かさの証明か。17日が聖パトリック・デー。そして4月23日に"初上陸"するのがサン・ジョルディの日。女性は男性に本を、男性は女性に花（バラ）を贈る日なのです。

今年の聖バレンタインデー。2週間ほどでざっと8000万枚、400億円ものチョコレートが売れた。一年間の売り上げのゆうに一割を占めるとあって、業界は笑いがとまらない。

チョコをもらった男性も、もらいっ放しというわけにはいかない。

マシュマロやキャンデーが売れる。聖バレンタインデーには、それなりの起源があるが、ホワイトデーは菓子屋さんの"創作"らしい。ホワイトには「幸運を祈る」との意味がある。で、マシュマロの白。

母の日にはカーネーション、クリスマスにはケーキといった具合に贈り物をする日は多く、アイスクリームの日（6月8日）、和菓子の日（6月16日）、すしの日（11月1日）といったものも。

のすばらしの"スペリアルザJ"も数々ある。

日本人は自分の気持ちを表面に表出するのが苦手といわれるが、こうした記念日が"繁盛"するのは、「あの」を通じてつながりを保ちたいというよりは、豊かさに裏付けられた遊び心といった方が当たっている。

1日の聖パトリック・デーは、アイルランドにキリスト教を布教されたと聖パトリックをたたえるアイルランドの国家的祝日である。日本ではまだなじみは少ないが、東京のホテル（ニューオータニ）のレストランが今年初めて"輸入"。31日までの期間、「クローバー」を胸につけているとビティッシュ・コーヒーや人形プレゼントなどのサービスをしている。

アイルランドの国家の色は"グリーン"。聖パトリック・デーにはアイルランドの人たちはグリーンを身につけて、大通りを練り歩くのだという。

さてもうひとつ、今年初めて日本で大々的に練り広げられようとしているのがサン・ジョルディの祭り。スペインのカタルーニャ地方に伝わる守護神サン・ジョルディをたたえた祭りで、同地方の人たちは、4月23日を中心にバルセロナのサン・ブラス通りなどで「本と花の市」を盛大に開いて、男性はバラの花を、女性は本を互いに贈る慣習がある。

竹村　亜希子さん

カタルーニャは、イベリア半島の東北部に位置し、（ロナ、バルセロナ、レイダ、タラゴーナ）の4県からなるスペイン国内で唯一自治権（1976年獲得）を有する"国家"。地中海に面した豊かな地方で、"芸術の国"と呼ばれる。今世紀最大のモニリスト、パブロ・カザルスのほか、ピカソ、サルバドール・ダリ、ホアン・ミロらの画家、建築家のアントニオ・ガウディといった著名な芸術家たちをうみだした。

起源は守護神 たたえる祭り

この祭りの起源については定かでないが、①ローマ軍の下士官だったサン・ジョルディが、竜に捕らえられた王女を救って、村に平和をもたらしたという伝説から「愛」―バラの花の贈り物というロマンが生まれた②ドン・キホーテを書いた当時の文豪ミゲル・セルバンテスが、4月23日にこくなった説、物語説なども同時に行われる。それをしのんで「本の市」が開かれた③この2つが合体して「愛と知性」をテーマにした「サン・ジョルディの日」が生まれたらしい。サン・ジョルディはあ

祭りのメーンイベントは、4月19、20の両日、札幌（オーロラタウン）、仙台（一番町商店街）、東京（代々木公園）、横浜（伊勢佐木モール）、名古屋（久屋大通公園）、大阪（中之島公園）、福岡（天神大名町）の7大都市で開く「本と花の市」。スペインのバラ展と配布（1万本）、スペイン美術・工芸展、カタルーニャ写真展、物産展なども同時に行われる。

この祭りは、4月1日から23日まで、全国1万3000の書店で、「愛と知性」をテーマにした「特賣」「スペイン・カタルーニャ・サン・ジョルディの旅」（150人）や図書券が当たる「愛のサン・ジョルディくじ」を1500万枚配布するなど、祭りPRにあの手この手の作戦を展開中だ。

この愛と知性の運動を代表するかけを作ったのが、名古屋市で「占いの王様」を主宰する竹村亜希子さん（36）。バルセロナの祭りを知って、このロマンを日本でも」と、日本書籍出版協会会長（講談社社長）に呼びかけ、昨年4月、松田哲夫・日本書店組合連合会会長を委員長とする「サン・ジョルディの日実行委員会」ができた。

主催する団体は同協会のほか、日本書店組合連合会、日本雑誌協会、日本出版取次協会、図書推進協議会、日本図書館協会、日本文芸家協会、それにカタルーニャ友好親善協会。それに日本生花商協会が後援という大所帯だ。

カルチャーとして定着は…

この祭りが、4月23日を中心に、「本と花の市」を盛大に開いて、男性はバラの花を、女性は本を互いに贈る慣習がある。

竹村さんは、「本と花はカルチャー。バレンタインデーとは違い、ロマンがあるこの祭りを、ぜひ定着させたい」と話している。

「本と知性の運動を代表する竹村さんは、「本と花はカルチャー。バレンタインデーとは違い、ロマンがあるこの祭りを、ぜひ定着させたい」と話している。

「本と知性の運動を代表する竹村さんは、「本と花はカルチャー。バレンタインデーとは違い、ロマンがあるこの祭りを、ぜひ定着させたい」と話している。

「本と知性の運動を代表する竹村さんは、「本と花はカルチャー。バレンタインデーとは違い、ロマンがあるこの祭りを、ぜひ定着させたい」と話している。

「本と知性の運動を代表する竹村さんは、「本と花はカルチャー。バレンタインデーとは違い、ロマンがあるこの祭りを、ぜひ定着させたい」と話している。